

第44回北ロータリー杯争奪苫小牧小学生サッカー大会 開催要項（案）

1. 主 催 苫小牧地区サッカー協会、苫小牧北ロータリークラブ
2. 主 管 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会
3. 後 援
4. 期 日 令和6年10月26日（土）、27日（日）
開会式、閉会式は行わない
5. 会 場 TOMASEI フットボールフィールド（苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場）
6. 参加資格
 - (1) 本大会に参加できるチームは次の全ての要件を満たすチームとする。
 - ①本年度公益財団法人日本サッカー協会に加盟登録された苫小牧地区第4種のチーム。
 - (2) 本大会に出場できる選手は次の全ての要件を満たす選手とする。
 - ①上記(1)①で登録済みである選手。選手証の確認は行わない
 - ②公益財団法人スポーツ安全協会傷害保険（第1種A）もしくはこれに準ずる傷害保険加入手続き完了済みである選手。
 - (3) 次の要件を満たす女子の参加を認める。
 - ①上記(2)の全ての要件を満たす選手と女子登録してある小学生の選手。
 - (4) チーム所属選手の人数が少ないチームは、合同チームでの出場を認めるが、次の全ての条件に該当していなければならない。
 - (ア) 合同するチームは、今年度に（公財）日本サッカー協会第4種または女子（小学生）に加盟したチームであること。
 - (イ) 「参加選手」は、合同するチームに所属する選手であること。
 - (ウ) 極端な勝利至上主義を目的とする合同チームでないこと。
 - (エ) 合同チームとしての参加を代表者会議で承認を受けること。
 - (5) 原則として各団体1チームでの参加とする。
 - ①2 チームエントリーするチームは、各チーム専属の審判・指導者を設定する事
 - ②2 チームエントリーの場合、A・Bチームの指導者が逆側チームのベンチに入る事は認めない。
7. 競技規則
 - (1) 競技規則は次のとおりとし、その他は日本サッカー協会競技規則に準ずる（8人制）。
 - ①フィールドの大きさは下表のとおりとする。
 - ②使用球は公認球4号ボールとし、ゴールは少年用（5m×2.15m）とする。
 - ③チーム編成は指導者4名とし、選手については人数の制限をしない。
 - ④交代要員は主審の許可を得て自由に交代することができる。
 - ⑤危険を避けるため、スパイクは固定式で金属以外のものとする。
 - ⑥本大会において退場させられた者は次の1試合に出場できず、以降の処置については規律・フェアプレー委員会で決定する。また、大会期間中に警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。
8. 競技方法
 - (1) リーグ戦、トーナメント戦のどちらで行うかは検討中
 - (2) 競技のフィールドの大きさは下表のとおりとし、ゴールは少年用（5m×2.15m）とする。
 - (3) 試合球は公認球（少年用4号球）を使用する。
 - (4) 競技者の数および交代
 - ・1チーム11人の競技者によって行われる。チーム競技者のうち1人はゴールキーパーとす

る。

- ・登録できる交代要員および交代の人数は制限しない。交代して退いた競技者は交代要員となって再び出場することができる。交代の回数は制限されない。

(5) 競技者の用具

- ・競技者の用具については、実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」および「ユニフォーム規定」に従うものとする。
- ・ユニフォームチェックは行わない。
- ・試合開始前までに当該チームでユニフォーム色を調整する事。
- ・シャツ、パンツ、ソックスまで大会規定に則り、識別出来るように調整対応する事。
- ・選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ・ユニフォームの広告表示については、（公財）日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。

(6) テクニカルエリア

- ・テクニカルエリア（ベンチ）に入ることができる人数は、交代要員制限なし、引率指導者4名までとする。
- ・その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

(7) 審判員

- ・4人の審判で行う。

(8) 試合時間

- ・試合時間は前、後半とも15分間とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始まで）は5分とする。

※例年20分間であるが日没等の都合により15分間とする。

- ・規定の時間内に勝敗が決しない場合は、同点の場合はいわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、決勝においては、前、後半5分ずつの延長戦を行い、なお勝敗が決しない場合にはPK方式にて勝者となるチームを決定する。

9. 組合せ フリー抽選により決定する。

10. その他

- ①大会参加時に本部にてメンバー表3部の提出を行うこと。
- ②選手資格に関し、その他不都合な行為があった場合そのチームの出場を停止する。
- ③選手の保護者・関係者のマナー遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ）については、チーム責任とする。
- ④帯同審判で大会を運営するので、各チームは審判割り当てを遵守すること。
- ⑤荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には委員長、審判長、事業委員会において協議の上、対処する。

中断・中止・延期することがあることを留意のこと。連絡は事務局より行う。連絡のない場合は決行する。

11. フィールドの大きさ

